



代表取締役社長 吉田 重久

きものをもっと気軽に楽しんで、 代々受け継がれてきた 日本の心を取り戻してほしい

「どこも取引先がないのに、なぜきもの販売介業をやっているのかとある方に尋ねられました。いつか必ず協力してくださる方があらわれると信じてやっていますと答えると、変わっていきると言っていて、賛同を申し出てくれました。あのときは本当に嬉しかったです。」

売りたい人と買いたい人の間にいるのが、私たち、きもの販売介業です。『無料きもの着付教室』では、きものや帯の購入義務はありませんが、できるだけ生産者の近いところに行くことで、よりよい商品を適正価格でお客様に届けたいと思っています。」

創業からずっと こだわり続けた「無料」

生産者の輪が少しずつ広がり、業界内でも日本和装の名が知られるようになった。『無料きもの着付教室』は、「無料」にこだわり、流派や流儀を考えないという基本方針で、現在までに修了生は16万人を超している。

「どうして無料なのかと疑問をもたれる方がよくいらつしますが、きもの着付けというのは親から子へ、子から孫へと受け継がれてきたのです。当然、無料で教えられてきたもので、そこにはお金は発生していません。このため、私たちも無料を貫いてきました。」

『無料きもの着付教室』では、4カ月かけて普段着から正装まで着られるようになります。着付けは難しそうと思われがちかもしれませんが、昔の人は普通に着ていたのです。きものを着る機会をつくれれば、誰でも気軽に着られるようになります。」

教室では着付けを教えるだけでなく、きもの価値を見定める力も養っていただきます。

伝統文化を守るべく 『無料きもの着付教室』を開催

成人式や結婚式といった特別な日にしか身につけなくなってしまうきもの。より多くの方にきものを身近に感じてもらい、日本のきもの文化を次代につないでいこうと、創業から25年近くにわたり日本和装では『無料きもの着付教室』を開催している。

「あるとき、呉服屋の主人からきものが売れないという話を耳にしました。きものというものは、日本人にとってなくてはならない大切なもの。もったくさんの方々にきものを着てもらわなくては文化として根付かないと、きもの業界に足を踏み入れたのが24歳のときでした。」

近年、自分できものを着ることができないという方は珍しくありません。いくらきものを着てほしいと言っても、運転免許のない人に車を動かせることと同じです。教室所のように

日本和装ホールディングス株式会社

(証券コード: 2499)

住所: 東京都千代田区丸の内1-2-1
東京海上日動ビルディング新館6F
電話: 03-3216-0070
Web: <http://www.wasou.com/>

●設立: 1986年7月 ●代表者: 代表取締役社長 吉田 重久
●事業内容: 「人の喜ぶところに栄えあり」という経営理念のもと、創業以来、『無料きもの着付教室』を入口として消費者と生産者を結び、きもの販売介業に専従。きものを着る人を増やし、きものや帯を作る生産者を活性化させるために、さまざまな取り組みをしている。

「徹底的に調べて、価値ある生産者を開拓して、生産者の販売機会をつくっています。加えて、糸の匠センターという検品所を設けて、お客様のもとへ届ける前に十分なチェックをして品質管理に努めています。」

自社で保有している在庫であれば見逃すようなことも、きもの販売介業ならではの立場から、心を鬼にして返品する場合もあります。人の喜ぶところに栄えありと経営理念もあるように、お客様に喜んでいただきたいという一心で取り組んでいます。」

きものを着て、 凛と姿勢を正すこと

日本和装は、今年9月に株式会社上場5周年を迎える。『無料きもの着付教室』によって、きものファンが増え、きものが日常的に着られるようになってきている。そして、東日本震災から立ち直ろうとしている今こそ、ぜひ日本人にきものを着てほしいのだという。

「きものを着ていただくのとわかるのですが、身なりが整つてくると気持ちや姿勢が引き締まります。不思議なことに、日本人的な考え方ができるようなになります。日本が大変な状況にある今、勤勉で我慢強く、前向きに突き進んでいく日本人らしさが重要です。より多くの方がきものを着ることで、日本人らしさを取り戻していただけたらと願っています。」

今後はきものコンテストを開催し、積極的にきものを着るチャンスをつくり、日本中にきものブームを起こしていきたいと考えています。きもの素晴らしさに気づくと同時に、日本人の心に目覚めてくださる方がひとりでも増えることが私たちの喜びです。」

秋からはじめる

『無料きもの着付教室』



『無料きもの着付教室』は、春と秋の年に2回の募集をしています。お仕事帰りなどでもアクセスしやすい会場で全国2000クラスを用意しています。週1回2時間、全15回。1クラス10人前後の少人数で、手持ちのきものや帯を使って、一人ひとりしっかり学ぶことができます。着付けの技術に限らず、本物を見たり触ったりすることで、きものや帯についての知識も身につきます。

受講者の方の多くが、思ったよりも簡単と驚くほど、特別な器具もなく手軽にきものが着られるようになります。飲み会やパーティー等ちょっとしたお出かけがさらに楽しみに思えます。いつか自分できものを着てみたいと思っていた、今まで教える程度しかきものを着たことがないなど、どんな方でも楽しく学べるのが日本和装の『無料きもの着付教室』です。

一般的に着物が高いというイメージがありますが、お客様には良質なものを賢く選んで安価で買っていただきたいと思っています。」

他にないビジネスモデルを手がける日本和装では、生産者との契約はプロの目から商品を見極めたくうえで交わしている。つまり、自信をもって推奨できるものしか扱っていないのだ。

実践できる場を提供しようと『無料きもの着付教室』を始めました」

最初は45人の生徒からのスタートだったという。帯やきものをつくる生産者の方を、消費者の方に紹介する手数料で成り立っているきもの販売介業。日本和装は、きもの文化を守る架け橋のような役割を担っている。

前例のないビジネス 当初は苦戦の連続だった

周知の通りきものには長い歴史があるため、きもの業界には保守的な部分が見られる。日本和装がきもの販売介業として新規参入したものの、これまでの道のりは決して平坦なものではなかった。

「きもの流通は複雑な仕組みになっていて、きもの販売介業は前例がないため簡単には受け入れられませんでした。生産者のところへ出向いても、門前払いが当たり前。相手にもされず断られるのがほとんどでした。負債は広がるばかりで、頭を抱えて眠れない日もありました。」

当時、インターネットといった便利なものはなかった。電話帳を広げて端から電話をかけ続ける日々。交通費を抑えるために車で京都へ行って、何件もの生産者を回りました。車中で寝泊まりをして時間を惜しんでも、多くが入り口の受付で出戻られました」

石の上にも三年とあるように、創業から3年ほどは厳しい時期だった。ところが、生産者を探しに奔走しているうちに、徐々にこちらの熱意が伝わるようになっていった。

Leader & Innovation
賢者の選択
A Shrewd Man's Choice

<http://www.kenja.jp/>

企画: 矢動丸プロジェクト

◆全国放送

BS11

毎週日曜

10:00~10:55

9月4日(日)放送予定

日経CNBC

毎週日曜

12:00~12:55

9月4日(日)放送予定

◆兵庫・大阪

SUN-TV

毎週月曜

22:00~22:55

9月5日(月)放送予定